

5 高齢者メタボリックシンドローム対策事業

1 目的

国が実施する特定健診・特定保健指導は、主に壮年期が対象とされているが、健康長寿を達成するうえで高齢者における対策も欠かすことができない。

しかし、高齢者においては生活環境や老化に個人差が大きく、合併症によっても対策が異なるため、専門的知見に基づき、特性に応じた対策を立案する必要がある。そのため、平成20年度に引き続き、大学医学部の専門家等の協力を得て高齢期の健康増進の自助努力を有効に支援する手法の研究を行うとともに、広く高齢者へ生活習慣病対策に関する啓発を行うことで、高齢期の生活習慣病の発症及び重症化の予防を目指す。

2 内容

下記の事業を名古屋大学医学部に委託して実施

- (1) 社会的活動が低下傾向にある高齢者の健康増進の自助努力を有効に支援する手法について調査・研究する。

課題名：「歩数計およびデジタルカメラを用いた地域在住高齢者の運動および栄養評価に関する研究」

- (2) 高齢者の生活習慣病対策に関するシンポジウムの開催

高齢期における生活習慣改善の手法に関するシンポジウムを開催し、生活改善の必要性、手法について広く普及啓発を図る。

<第1回シンポジウム> テーマ「暮らしと心と健康と」

日 時：8月21日（金）午後2時～4時

場 所：豊田市民文化会館 大ホール

参加者：約1,400名

内 容：①講演「生活習慣と健康長寿」

講師 國井鏡氏（愛知みずほ大学 学長）

②講演「高齢期の心と健康」

講師 鈴木國文氏（名古屋大学医学部保健学科 教授）

<第2回シンポジウムの開催> テーマ：「高年期の生活習慣病」

日 時：平成21年11月22日（土）午後2時～4時15分まで

場 所：名古屋大学大幸キャンパス東館 4F大講義室

参加者：170名

内 容：講演「体を動かして健康寿命をのばそう～老いて健康の鍵はここにあり～」

講師 猪田 邦雄氏（名古屋大学名誉教授、中部大学特任教授）